



作業療法活動「春の野点」

精神科医療の中で思うこと

診療部 鈴木 秀行

私が小学校に入る前の頃、我が家には「よみのくに」という絵本がありました。これは日本の神話を題材にしたもので、死んだイザナミノミコトに会いに行くイザナギノミコトのお話です。イザナミノミコトは、いかずちの神を産んだ時にホトを焼かれて死んでしまう。そして黄泉の国に降っていくのですが、取り残されたイザナギノミコトは嘆き悲しみ、禁を犯してイザナミノミコトに会うために黄泉の国へ出かけていく。結局、醜い姿に変わってしまったイザナミノミコトをみてイザナギノミコトは呪的逃走をするのですが、これがとにかくとても怖い絵本でした。しかし怖いもの見たさというのでしょうか、妙に惹きつけられて、何度も母親に読んで貰った記憶があります。どうも自分の中には不気味なもの、おどろおどろしいものに対して惹きつけられるところがあるようで、少し今の精神科医という職業選択にもこの部分が一役買っているのかも知れません。人の心の中、精神の中には、どうも科学的には証明できず、手が届かない様な不気味な部分、おどろおどろしい部分、それでいて何だか妙に惹きつけられる

魅力的な部分があるらしい。自分の中で主役顔をしている自分というものは、実は主役などではなく、何だかよくわからない全体の一部分に過ぎないのではないかと。その不可思議な部分を覗き見ると、場合によっては精神に変調を来たすこともあるのではないかと…。若い頃から、そんな疑問がいつも心の何処かにあった様に思います。

今、精神科医療は、EBM、つまり科学的、統計的根拠に基づいた医療のさらなる実践が求められています。最新の医療を患者様に提供出来るように、日々の取り組みが必要なのは言うまでもありません。また、患者様への治療、ケアの基礎にあるものは、病んでいる人、困っている人に対してなにか援助をしたいという病院職員、関係者ひとりひとりの素朴な思いなのだと、日々、働いている中で感じます。そして、私の場合、これに上述のような好奇心がちょこっと加わるのですが、それはいいことなのかどうなのか？——よく分かりませんが、今後とも優しい医療、楽しい職場の実現に向けて努力していきたいと思えます。



医療安全管理への取り組み

医療安全管理室 中井 恵子

近年、医療事故に関する報道が多く見られ、大きな社会問題となっています。「事故のない安全・安心な医療」が求められています。

当院においては、すでに数年前より医療事故防止への取り組みはスタートしており、院内におけるあらゆるリスクとその防止について、検討する委員会も設置し改善に努めてきています。

厚生労働省は、医療機関における医療安全の対策を義務付け、適切な研修を40時間以上うけた医療安全管理者を配置することをすすめています。こうして、すべての医療機関における医療安全の確保は、責務とされてきています。

当院では、今年度、院内に医療安全管理室を設置し医療安全管理者を配置します。医療安全管理室は、各部門のリスク委員とともに連携、協同の上、院内における医療安全対策の立案・実行・評価を行い医療安全管理のために院内全体にわたり組織横断的に活動をおこないます。

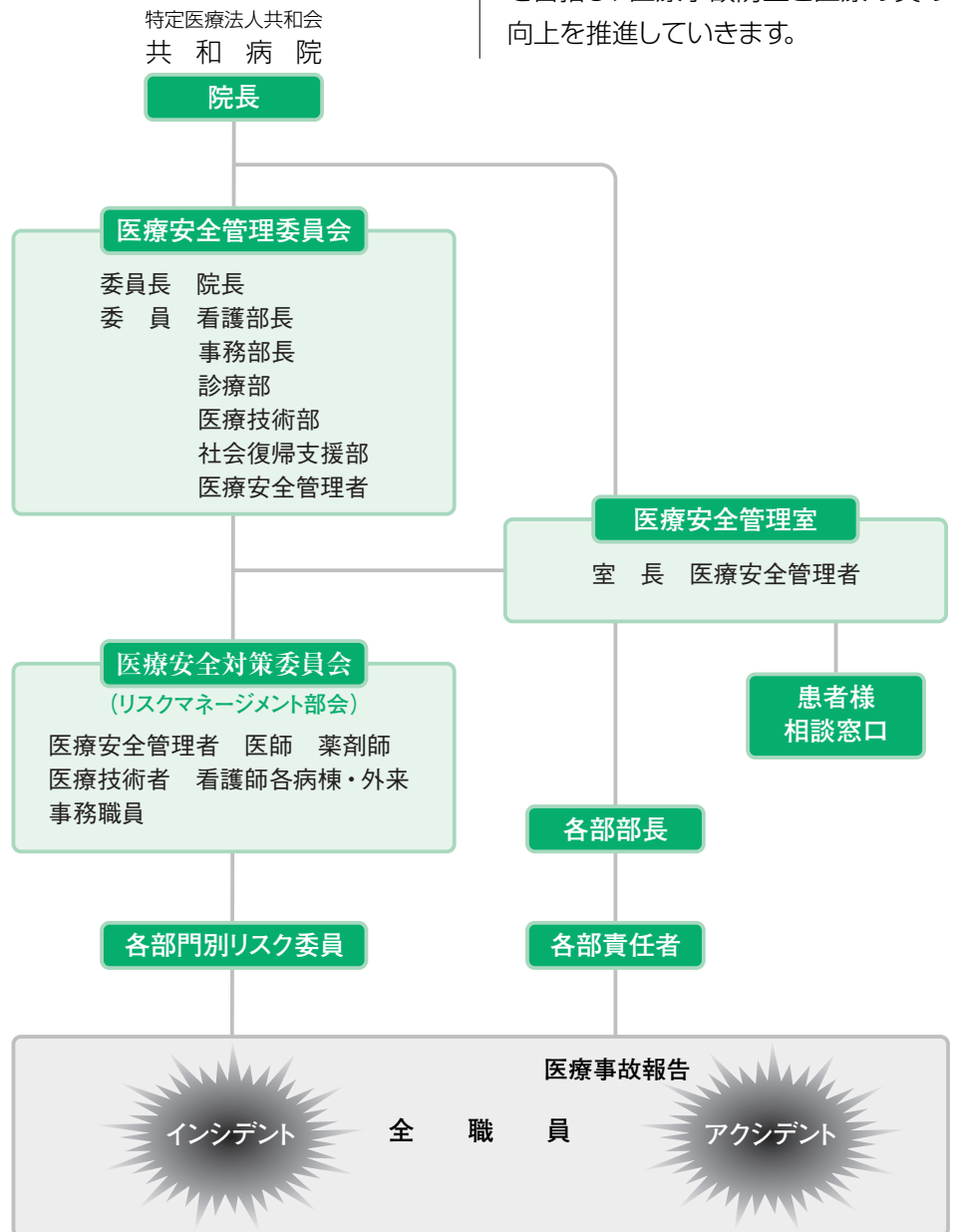
医療安全に関する具体的な活動としては、以下のものがあげられます。

1. ヒヤリ・ハット(インシデント)・アクシデント事例の収集、分析、改善策の策定および実施
2. 医療事故の原因の分析、再発防止策の検討、改善策の策定および実施
3. システムの見直しや構築、マニュアルの作成
4. 医療事故防止のための啓発、広報活動
5. 医療安全に関する職員教育

I. ヒヤリ・ハット・アクシデント報告制度

当院では、業務の中で医療事故につながりかねない「ヒヤリ・ハット」した出来事を院内で働くスタッフの中で、先ず始めに気づいた人が報告するという制度を設けています。報告されたレポートの状況をもとに、事故を防ぐための改善策を確立し、新たな事故の発生防止に生かします。このように院内では、レポートの提出しやすい報告文化も育っています。

II. 医療安全管理体制



III. 職員研修

職員の医療安全に関する意識向上と患者様と職員の安全を確保するため、年2回以上の研修を実施しています。

IV. 患者様の声 相談窓口

患者様やご家族の苦情・相談などに迅速に対応するため医療安全管理室に相談窓口を設置します。

◆
今後、さらに当院の基本方針にもあります、「利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療」を受けていただけることを目指し、医療事故防止と医療の質の向上を推進していきます。

喫茶 アトリエ



こんにちは、喫茶 アトリエです。

アトリエでは、院内喫茶として入院療養中の方や外来に通院されている方、そしてそのご家族、職員や近隣の方など多くの方に利用して頂いております。スタッフは年長の石原さんを中心に「合計年齢1??歳」という個性あふれる三人"娘"?! が楽しくサービスさせて頂いております。



私たちは、来店していただけるお客様に笑顔で接し、気軽に立ち寄り、居心地の良い憩いの場を提供できるように、日々努力しております。アトリエでは年間を通じて、四季折々の特別メニューを提供しております。また日頃の感謝の気持ちを込めて、年二回コーヒーチケット特別割引販売のサービスディを設けています。

まだ一度もご利用されていない方は是非、これを機会に一度お立ち寄り下さい。お待ちしております。

喫茶 アトリエ三人娘

★★★特別メニュー★★★

1月・・・ぜんざい
3月・・・ひな祭り
5月・・・検討中
7月・・・かき氷
12月・・・クリスマスなど

試験合格者 のお知らせ

以下のように共和病院職員が各試験に合格しました。

3月末時点での各試験合格者

A-2病棟 小池 容子

名古屋市医師会看護専門学校
第一看護科入学試験合格

*

B-2病棟 西郷 みつ子

日精協 生活療法指導員基礎コース合格

*

B-4病棟 白井 公一

中央看護専門学校2科入学試験合格

*

C-2病棟 大前 直美

弥富看護学校通信課程合格

*

C-2病棟 甲田 きくえ

第18回介護福祉士国家試験合格

*

C-2病棟 高橋 実香

第9回介護支援専門員筆記試験合格
《実務研修中》

*

C-2病棟 田代 伸子

第9回介護支援専門員筆記試験合格
《実務研修中》

*

秘書 沓名 睦美

愛知県立総合看護専門学校
第一看護科入学試験合格

編集後記



表紙は作業療法活動の一つ「春の野点」です。4月5日の快晴に恵まれた中行いました。

桜の方は、まだ満開とはいきませんでしたが、患者様だけでなく職員もなんだか大変和やかな感じがして、それが周りにも伝わってきます。

お花見でのお酒や食べ物が大変おいしい時期、今号が発行されるころに飲みすぎ食べすぎで体調を壊している、といった事がないよう皆様お気をつけ下さい(私はあまり自信ありません・・・)。

摂食、嚥下と 歯科治療

歯科治療は虫歯や歯周病の予防、治療、義歯の製作、管理をすることによって「食べる」機能の維持と管理をしています。しかしながら、「食べる」という行動は摂食、嚥下機能が健全な状態であってはじめて可能です。では、摂食、嚥下機能というものはどういったものでしょう。

*

「摂食、嚥下」とは食べ物を認知し、口の中に入れ、胃に運ぶ全ての過程を指します。この一連の動作は5つの段階に分けられます。

- 1) 先行期(認知期); 視覚、触覚、嗅覚や過去の経験から食べ物の硬さ、味、温度などを判断してどのくらいの量を口に運ぶかを判断します。
- 2) 準備期(咀嚼期); 口の中に入れられた食べ物は歯で咀嚼されて唾液と混ぜ合わせます。
- 3) 口腔期; 食べ物を舌や軟口蓋の運動で口腔から咽頭へ送ります。

4) 咽頭期; 食べ物は喉頭が持ち上げら

れて大きく開いた食道の入り口から食道内に送り込まれます。

- 5) 食道期; 食べ物は蠕動(ぜんどう)運動によって胃に運ばれます。

*

歯科治療は口に入れられた食べ物を歯で咀嚼する部分「準備期(咀嚼期)」に密接に関わります。歯は上下の歯がうまく噛み合わない機能しません。歯科では上下の歯が噛みあうことを「咬合接触」といいますが、咬合接触を多く作り、バランスよく配列することを目指しています。また、「咽頭期」がうまく機能しないと、いわゆる「誤嚥性肺炎」のリスクが上がる、とされています。本病院のスタッフは協力しあって摂食、嚥下機能の評価と管理をしています。多くの方々がお食生活を満喫していただけるよう今後も活動していきます。



義歯のない状態



義歯を装着した状態

- 義歯がないと歯は歯ぐきと噛み合うことになり、上手に食べられなかったり、歯ぐきを傷つけます。
- 義歯を装着することにより、より硬いものも食べられるようになります。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは!

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは!

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。

病院長 榎本 和



特定医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

俳句コーナー

空に消ゆ
鐸の響や
春の塔

漱石

名誉院長
加藤 邦之助

明治四十二年米山天然居士への追悼句ですが、第一高等中学時代の同級生で、漱石が兄からお前は文学の方にすみたいと云っているがそんなものは職業にならんと叱られたため、自分の力で後世に残る様な立派な建造物を作る建築家になるのだと話したとき、今の日本では天下に名を残す様な美術的な建築を造るのは無理、それよりも文学をやれ、文学なら後世に残る様な作品も出来るのではないかと説得されて、漱石は英文学を専攻することになったのです。今は文豪として天下に認められた漱石のこの追悼句には親友への様々な感慨がこめられ美妙な表現になっています。良い友達が有ると云うのはとても大切な事とつくづく思いますね。

鐸(たく)とは五重塔の軒端の四隅に吊り下げられた銅の風鈴の事です。目を閉じてこの句を口ずさむ時、妙なる銅鐸の音色が致しませんか：うららかな空に。